

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 22 日作成)

小委員会名	構造設計小委員会		主 査 名：竹内 徹 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 シェル・空間構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：小河利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術と芸術の融合により成立してきた空間構造の設計技術・理念の正しい継承・発展の促進を目的とし、主旨に従って各年度の活動計画を立案する。(全期間中)。</li> <li>・空間構造の構造設計を成立せしめる理論・解析・設計・施工技術の整理・分析・記録を通じ後進技術者・研究者への啓蒙を図る(全期間中)。</li> <li>・新しい設計手法の検証や提案、設計の高度化を目指した活動を行う。</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 竹内徹(東京工業大学)、佐々木陸朗(法政大学)、川口衛(川口衛構造設計事務所)、河端昌也(横浜国立大学)、川口健一(東京大学)、坪井善昭(共立女子大学)、金田充弘(東京藝術大学)、大崎純(京都大学)、金箱温春(金箱温春構造設計事務所)、今川憲英(東京電機大学) 植木隆司(巴コーポレーション)		
設置 WG (WG 名：目的)	無し		
2011 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 10 回新「シェル・空間構造」セミナー 「空間構造デザインを支える力学と素材」 参加者数 155 名 一般の建築構造に興味のある実務者、学生に広くアピールする「空間構造デザインとそれを支える力学原理、素材の使い方」に関する話題を取りまとめ、積極的な事前広報活動を実施した。結果、常時参加しているシェル・空間構造研究者のみならず、会員外、学生の参加者を多数得ることが出来、収支も大幅な黒字となった。若い学生の参加者も多かったことから、構造専門志望の学生喚起に一定の効果があつたものと考えている。
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. セミナー「空間構造デザインを支える力学と素材」を成功裏に実施し、4 年間の活動成果報告ができたものと考えている。
委員会活動の問題点・課題	構造専門志望の学生喚起に貢献できる有力な委員会の一つであり、今後の活動発展に期待したい。